宮城県
Miyagi Prefectural Government

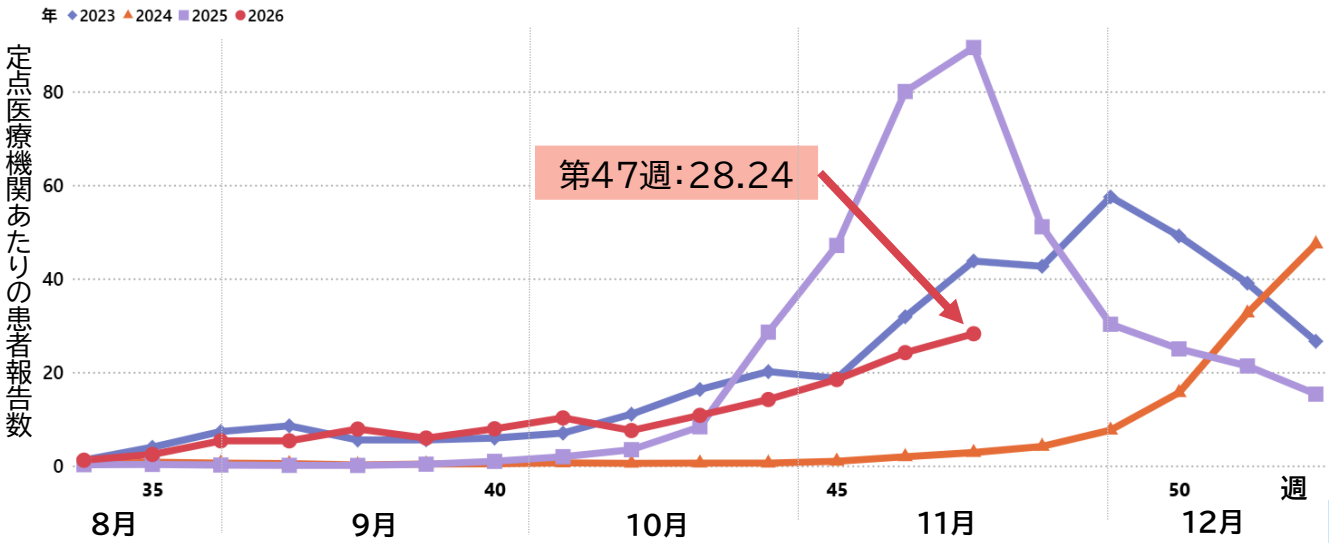
宮城県疾病･感染症対策課
令和8年11月26日

インフルエンザの感染者数が急増しています

宮城県では、令和8年第47週（11/16～11/22）において、仙南・塩釜・大崎保健所管内でインフルエンザ患者報告数が、1定点医療機関あたり30人を超えました。特に大崎保健所管内では1定点医療機関あたり50人を超えています。

今後もさらなる感染拡大が予測されますので、適切な感染対策を行いましょう。

宮城県全体の1定点医療機関あたりのインフルエンザ患者報告数（人）



インフルエンザとは

原　　因：インフルエンザウイルスにより感染します。

流 行 期：例年、11月下旬から3月頃まで流行します。
通常、流行のピークは1月から2月頃で、4月から5月頃にかけて減少します。

症　　状：1～3日間の潜伏期の後、38℃以上の発熱、咳、のどの痛み、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。多くの場合、約1週間で軽快しますが、重症化すると、肺炎や脳症等を起こすことがあります。
基礎疾患(持病)のある方や乳幼児、高齢者は重症化のリスクが高くなります。

感染経路：飛沫感染（感染者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸って感染）
接触感染（感染者のくしゃみや鼻水等で汚染された物を他の人が手で触り、その手で鼻や口を触ることでウイルスが体内に入って感染）

予防のポイント



咳エチケット

マスクは不織布マスクを使用し、鼻と口の両方を確実に覆い、フィットするよう調節しましょう。



手洗い

外出後や食事前など、石けんによるこまめな手洗いやアルコール製剤による手指消毒を徹底しましょう。



換気

こまめに換気を行い、新鮮な空気と入れ替えることを心がけましょう。



予防接種

65歳以上の方等定期接種の対象となる方は、市町村の情報等をご確認いただき、インフルエンザワクチンの接種をご検討ください。